

[調査会NEWS 797] (21. 6. 30)

■明日の官房長官要請と記者会見について

明日7月1日に行われる特定失踪者家族と官房長官の面会について、詳細は以下の通りです。

13:00 家族・調査会役員等衆議院第2議員会館受付ロビー集合

衆議院第2議員会館第1会議室で待機、打ち合わせの後官邸へ

14:40 官房長官面会（首相官邸）

※報道関係の方へ 官邸での取材についてはこちらの対応ではありませんので官邸にお問い合わせ下さい。

面会終了後第2議員会館第1会議室に戻り記者会見

参加後家族は関東近県を中心に15人程度になる予定です。官房長官には署名の提出、要請文書（全体のものと同別の案件に関するもの）、ご家族からのお手紙などをお渡しする予定です。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★7月5日（日）13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）

●ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●理事三宅が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンジア（京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F）

●代表荒木が参加

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県

民集会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター 情文ホール(みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分)

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ: 救う会神奈川 090(9816)2187又は

[調査会NEWS 796] (21. 6. 29)

## ■7月1日の官房長官要請と記者会見について

明後日行われる特定失踪者家族と官房長官の面会について、まだ詳細は決まっていますが、家族・関係者は13:00衆議院第2議員会館受付ロビー集合、14:40から首相官邸で面会という予定になっています。連絡が来たのが金曜なのでまだ対応ができていませんが、15人程度のご家族が参加される予定です。

官邸での面会終了後、議員会館の会議室で記者会見を行います。報道関係各位には取材対応をよろしくお願いします(場所等については追ってお知らせします)。今回は署名とあわせいくつか個別の要請文書、お手紙を届けます。それらはすべて公開する予定です。

## ■PR

荒木和博

宣伝ですみませんが、このたび新著『日本が拉致問題を解決できない本当の理由』(草思社・1890円)を出しました。北朝鮮の拉致問題についての全体像、日本国内で拉致問題の解決を阻んでいるもの、そして今後どうやって解決するかについて書いています。ご関心のある方はご一読いただくと幸いです。

## ■調査会役員の参加する講演会等の予定(一般公開の拉致問題に関するイベントのみ)

★7月5日(日) 13:00「救う会いばらき守谷集会」(同会主催)

●ロックシティ守谷・センターコート(筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分)

●代表荒木が参加

●問い合わせ: 救う会いばらき (090-1212-8084)

★7月11日(土) 14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」(拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催)

●藤沢産業センター(JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)

●理事三宅が参加

●問い合わせ: 救う会神奈川 090(9816)2187又は  
[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★8月22日(土) 14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」(拉致問題を考える川口の会主催)

●フレンディア(京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F)

●代表荒木が参加



付でITU（国際電気通信連合）へ通報を行っています。

それを受けて「しおかぜ」では、6月23日夜、24日朝と周波数変更を行い、変更当日の受信状態は非常に良好で、既に放送が出ていない前の周波数へ妨害電波は出し続けられていることも確認していただきました。それでも昨晩24日夜、25日朝の放送には、なんらかの妨害音を確認出来ると受信報告が入っております。ここ数ヶ月の受信状態は、北朝鮮より妨害電波が発射されていても、ソウルを始め北朝鮮近隣地域での受信状態はかなり良好であるところでは把握しており、今後も総務省と連絡を取りながら、各地の受信状況も考慮して周波数変更のタイミングを検討する次第です。

### ●「知事の会」メッセージ収録について

6月25日、調査会事務所を橋下徹大阪府知事が訪れ、スタジオにて「しおかぜ」のメッセージ収録をさせていただきました。想像はしていましたが、注目度の大変高い知事だけに東京、そして大阪からも取材の申し込みは多く、収録スタジオのフロアはマスコミでいっぱいになりました。到着後、早速スタジオで打ち合わせ、リハーサルとメディアには非常に慣れている事は言うまでもなく、お持ちになった原稿を手にとられて「しおかぜ支援グッズ」のリストバンド、3色ボールペンを着けて収録が始まりました。メッセージの要旨は次のようなものです。

原敕晁さん、北朝鮮に拉致されている多くの皆さん、お元気ですか。この放送を聞いていますか？私は、大阪府知事の橋下徹です。何の罪もない人たちを突然家族から引き離し、異国の地に連れ去ったことは絶対に許されることではありません。ご家族にとって、あなたの顔は、心の中に、今でもしっかりと刻まれています。あなたが1日でも早く帰ってくることを、心から待っています。私達もあなた方のことを忘れてはいませんし、これからも決して忘れません。日本全国の知事と協力しながら、政府に対して、拉致問題の早期解決を強く訴えるなど、地方公共団体の長としてできる限りのことをして行きます。

約2分間、優しい口調の中で切々と訴える、力のあるメッセージでした。収録後の会見でも「知事の立場として、出来る限りのことをする、拉致被害者には、帰れる日を信じてがんばってほしい」と誓うように語り、また「国民の生命を守れない国であってはならず、拉致問題解決への国の戦略が必要だ」とも熱くお話になりました。国が動かないのなら地方から拉致問題を動かそうという橋下大阪府知事らしい、とても力強い言葉でした。終了後、事務所でも「しおかぜ」について、熱心にご質問されるなど「しおかぜ」の有効性や効果について、状況を少しでも知ってもらおう機会を作ってください大変貴重な時間となりました。

大変ご多忙中、ご協力頂いた事、心より感謝するとともに、このメッセージが拉致被害者の方々に勇気と希望を与える事は間違いありません。収録させて頂いたメッセージは、「しおかぜ」が責任を持って、必ず北朝鮮へ届けます。

なお、特定失踪者ご家族、しおかぜネットワーク参加組織の皆様など、地元知事へ出演要請をして頂いている地域が複数あり、拉致問題に関心を持つ多くの国民から「うちの知事は、どうなっていますか？」などの声が上がっています。ご多忙中、日程調整も難しいとは存知しますが、まだメッセージ収録を行っていない知事の皆様は是非ともご出演いただきたく、各位にもご協力を重ねてお願い申し上げます。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

- ★7月5日（日）13：00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）
- ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

- ★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）
- 藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）
- 理事三宅が参加
- 問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

- ★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）
- フレンディア（京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F）
- 代表荒木が参加

- ★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）
- 大和会館（米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688）
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

- ★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）
- 横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）
- 副代表真鍋が参加
- 問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

調査会NEWS 794] (21.6.26)

■官房長官への要請日時決定

昨日のニュースと記者会見で座り込みについてお知らせしたばかりですが、河村建夫官房長官（拉致問題担当相）との面会が急遽決定、7月1日水曜、午後2時40分から行われることになりました。

既にお知らせした通り、官房長官との面会は当初3月17日の拉致議連総会の後に予定されていきました。直前になって国会の関係で延期になったまま、その日程が決まらなかったものです。すでに3ヶ月余り経過し、依然日程が決まる様子になかったため、面会の意志なきものと考え、昨日のニュースでお知らせしたように「7月15日官邸近くで座り込みを実施」と発表したところ、日程が決まった次第です（まあ、座り込みとは関係ないのかもしれませんが）。

こうなると何となく強硬策に走る北朝鮮の気持ちが分かったような気がします（「調査会が核保有宣言でもしたら政府は拉致被害者救出に動くだろうか」とか）。一方で政府が私たちにこんな弱腰で北朝鮮相手に大丈夫なのだろうかと不安にもなります。それはともかく、官房長官がお忙しい中会っていただけるのは大変ありがたいことでもあり、当日は参加できないご家族の分までしっかりとお伝えしてくるつもりです（可能な限り文書でお渡しし、その文書は公表します）。なお、これにともない7月15日実施を発表した座り込みはいったん取りやめといたします。

報道関係の方々には追ってお知らせしますが、当日は議員会館の会議室をお借りして面会終了後記者会見を行う予定です。何卒よろしくお願ひします。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★6月28日（日）14:00「定期総会記念講演会」（日本会議神奈川・相模原支部主催）

●杜のホールはしもと（横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel 042-775-3811）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：奈良支部長（042-757-2002）

★7月5日（日）13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）

●ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●理事三宅が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンジア（京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F）

●代表荒木が参加

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情

文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分)

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川

090(9816)2187又は

[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

[調査会NEWS 793] (21. 6. 25)

## ■橋下知事「しおかぜ」収録・記者会見

本日橋下徹大阪府知事が調査会事務所を訪問、「しおかぜ」スタジオにて北朝鮮向けメッセージを収録しました（これについての詳細は別途流します）。

また、収録後定例の記者会見を行いました。その折代表荒木より7月15日に首相官邸付近（国会前）で座り込みを行うことを発表しました。

これは拉致議連を通じて特定失踪者家族に官房長官（拉致問題担当相）が面会、署名を受け取ってくれるよう要請し、当初3月17日に午前中拉致議連総会、午後官邸訪問という予定になっていたものです。直近になって国会日程の関係で17日は難しいとのことになり、後日調整すると連絡を受けていたのですが、いつまで待っても決定しません。この間何度か日程を決めていただくよう議連を通じお願いし、議連でもご尽力いただいたものの全く決まる様子がないため、今回の決定としたものです。ただし、「スケジュール闘争」ではありませんので、その間に政府の対応等に変化があれば別途の対応もあり得るとは思います。

当日は座り込みをやりながら署名（カウントしていませんが10数万人分）及び要請文書、ご家族からの手紙を官邸に持って行く予定です。

なお、本日の記者会見はインターネットを使った中継を行う予定でしたが、接続のトラブルで中継ができませんでした。ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

## ■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★6月28日（日）14:00「定期総会記念講演会」（日本会議神奈川・相模原支部主催）

●杜のホールはしもと（横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel 042-775-3811）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：奈良支部長（042-757-2002）

★7月5日（日）13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）

●ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」

- (拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催)
- 藤沢産業センター (JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)
  - 理事三宅が参加
  - 問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

- ★8月22日(土) 14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」(拉致問題を考える川口の会主催)
- フレンディア(京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F)
  - 代表荒木が参加

- ★9月26日(土) 13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」(東アジアネットワーク主催)
- 大和会館(米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688)
  - 代表荒木が参加
  - 問い合わせ：長崎さん(090-7376-7803)

- ★10月12日(月) 13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川主催)
- 横浜情報文化センター 情文ホール(みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分)
  - 副代表真鍋が参加
  - 問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

[調査会NEWS 792] (21.6.23)

■訂正(しおかぜネットワーク参加組織)

先ほどのメールの参加組織一覧に古川了子さんの救出を支援する会(竹下敦之代表)が抜けていました。また、嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会は代表者が千田千代和さんから森下裕さんに変更になっています。お詫びして再度お知らせします。(団体名あいうえお順)

- ARNKA(海老原智治)
- 安達俊之さんを思う会(河原秀昭)
  - 映像教育研究会(稲川和男)
  - 大澤孝司さんと再会を果たす会(平岡一郎)
  - 河嶋功一君を探す会(脊古道大)
  - 北朝鮮人権委員会(鶴崎和男)
  - 経営者ブルーリボンの会(刈屋隆)
  - 国民新聞しおかぜ友の会(山田恵久)
  - 埼玉しおかぜの会(武藤政春)
  - 桜応援団(近藤誠)
  - 35生島孝子の会(生島敦子)
  - 庄内ブルーリボンの会(佐藤忠智)
  - 新風・たすけあひ機構(魚谷哲央)
  - 救う会愛知(宮地憲康)



救う会秋田(秋田地区) (松村譲裕)  
救う会秋田(北秋田地区) (福岡雅子)  
救う会石川(米光正次)  
救う会いばらき(松尾秀雄)  
救う会愛媛(中矢民三郎)  
救う会大分(伊藤田雄三)  
救う会神奈川(川添友幸)  
救う会金沢(川裕一郎)  
救う会岐阜(吉田安孝)  
「救う会群馬」群馬ボランティアの会(大野トシ江)  
救う会高知(森田和博)  
救う会埼玉東部の会(古藤勝次)  
救う会・堺(西村真悟)  
救う会千葉(中村実)  
救う会徳島(陶久敏郎)  
救う会富山(濱谷隆平)  
救う会長野(塚田俊明)  
救う会奈良(佐藤一彦)  
救う会兵庫(長瀬猛)  
救う会福岡(青木英實)  
救う会ふくしま(菅野重信)  
救う会三重(森田優)  
救う会宮城(安藤哲夫)  
救う会宮崎(吉田好克)  
救う会山形(齋藤純一)  
園田一・トシ子夫妻の家族を支援する会(栞山正木)  
CHOSUN BAND RESEARCH(柘植裕子)  
つくば、しおかぜ会(新井佐和子)  
電脳補完録(山本孝司)  
東京ブルーリボンの会(河村裕子)  
特定失踪者問題調査会(荒木和博)  
長崎拉致被害者救出ネットワーク(北村芳正)  
中村三奈子さんをさがす会(金井英雄)  
日本映画ファンしおかぜの会(三浦小太郎)  
日本青少年(西山俊一郎)  
浜松ブルーリボンの会(石川博之)  
東アジアネットワーク(石原倫理)  
東アジアネットワーク広島(安藤宗光)  
古川了子さんの救出を支援する会(竹下敦之)  
ブルーリボン柏崎(植松和彦)  
法律家の会(土田庄一)  
民社人権会議(田久保忠衛)  
山形ビジョンの会(工藤清)  
山本美保さんの家族を支援する会(清水仁)  
予備役ブルーリボンの会(荒木和博)  
拉致事案全般研究会(松田紗織)  
拉致被害者を救うコスモスの会(山本正治)  
拉致問題解決を目指す会(甲斐直樹)  
嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会(千田千代和)  
ワシントンDCらち連絡会(浅野泉)  
■参考情報・戦略情報研究所講演会(真鍋貞樹)

戦略情報研究所の次の講演会は下記の通り開催されます。ふるってご参加下さい。

1、日程：6月26日(金)18:30~20:300  
2、場所：U I ゼンセン会館2階会議室（千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549） ※市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向い

<http://www.mapion.co.jp/c/f?uc=1&grp=all&nl=35/41/14.758&el=139/44/23.929&scl=5000&bid=Mlink>

3、講師：真鍋貞樹（特定失踪者問題調査会副代表・戦略情報研究所専務・拓殖大学教授）

4、テーマ「拉致問題解決へのNPOのチャレンジー政府といかに協働すべきかー」

5、参加費 2000円（戦略情報研究所会員は無料）。

6、参加申し込み 事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。

※真鍋貞樹著書『NPOのチャレンジ』（2009年4月発行・一藝社）

定価 2200円+税（当日参加者の方には1100円でお分けします）

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★6月28日（日）14:00「定期総会記念講演会」（日本会議神奈川・相模原支部主催）

●杜のホールはしもと（横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel 042-775-3811）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：奈良支部長（042-757-2002）

★7月5日（日）13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）

●ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●理事三宅が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンディア（京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F）

●代表荒木が参加

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県

民集

会」(救う会神奈川主催)

●横浜情報文化センター 情文ホール(みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分)

●副代表真鍋が参加

●問い合わせ: 救う会神奈川 090(9816)2187 又は

[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

[調査会NEWS 791] (21.6.23)

## ■定例記者会見の中継について

明後日25日14:30からの橋下大阪府知事の「しおかぜ」収録に続く記者会見はいつもと同様、(株)NetLiveのご厚意によりインターネットの生中継を行います。NetLiveのホームページからご覧下さい。

## ■しおかぜネットワーク参加組織64に

このところご報告していませんでしたが、しおかぜネットワークにはその後「35生島孝子の会」「日本映画ファンしおかぜの会」「拉致被害者を救うコスモスの会」等が参加し、現在64団体となっています。参加組織と代表者は以下の通りです(あいうえお順)

ARNKA(海老原 智治)

安達俊之さんを思う会(河原 秀昭)

映像教育研究会(稲川 和男)

大澤孝司さんと再会を果たす会(平岡 一郎)

河嶋功一君を探す会(脊古 道大)

北朝鮮人権委員会(鶴崎 和男)

経営者ブルーリボンの会(刈屋 隆)

国民新聞しおかぜ友の会(山田 恵久)

埼玉しおかぜの会(武藤 政春)

桜応援団(近藤 誠)

35生島孝子の会(生島 敦子)

庄内ブルーリボンの会(佐藤 忠智)

新風・たすけあひ機構(魚谷 哲央)

救う会愛知(宮地 憲康)

救う会秋田(秋田地区)(松村 譲裕)

救う会秋田(北秋田地区)(福岡 雅子)

救う会石川(米光 正次)

救う会いばらき(松尾 秀雄)

救う会愛媛(中矢 民三郎)

救う会大分(伊藤田 雄三)

救う会神奈川(川添 友幸)

救う会金沢(川 裕一郎)

救う会岐阜(吉田 安孝「救う会群馬」群馬ボランティアの会(大野 トシ江))

救う会高知(森田 和博)

救う会埼玉東部の会(古藤 勝次)

救う会・堺 (西村 真悟)  
救う会千葉 (中村 実)  
救う会徳島 (陶久 敏郎)  
救う会富山 (濱谷 隆平 )  
救う會長野 (塚田 俊明)  
救う会奈良 (佐藤 一彦)  
救う会兵庫 (長瀬 猛)  
救う会福岡 (青木 英實)  
救う会ふくしま (菅野 重信)  
救う会三重 (森田 優)  
救う会宮城 (安藤 哲夫)  
救う会宮崎 (吉田 好克)  
救う会山形 (齋藤 純一)  
園田一・トシ子夫妻の家族を支援する会 (栞山 正木)  
CHOSUN BAND RESEARCH (柘植 裕子)  
つくば、しおかぜ会 (新井 佐和子)  
電脳補完録 (山本 孝司)  
東京ブルーリボンの会 (河村 裕子)  
特定失踪者問題調査会 (荒木 和博)  
長崎拉致被害者救出ネットワーク (北村 芳正)  
中村三奈子さんをさがす会 (金井 英雄)  
日本映画ファンしおかぜの会 (三浦 小太郎)  
日本青少年 (西山 俊一郎)  
浜松ブルーリボンの会 (石川 博之)  
東アジアネットワーク (石原 倫理)  
東アジアネットワーク広島 (安藤 宗光)  
ブルーリボン柏崎 (植松和彦)  
法律家の会 (土田 庄一)  
民社人権会議 (田久保 忠衛)  
山形ビジョンの会 (工藤 清)  
山本美保さんの家族を支援する会 (清水 仁)  
予備役ブルーリボンの会 (荒木 和博)  
拉致事案全般研究会 (松田 紗織)  
拉致被害者を救うコスモスの会 (山本 正治)  
拉致問題解決を目指す会 (甲斐 直樹)  
嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会 (千田 千代和)  
ワシントンDCらち連絡会 (浅野 泉)

#### ■参考情報・戦略情報研究所講演会 (真鍋貞樹)

戦略情報研究所の次の講演会は下記の通り開催されます。ふるってご参加下さい。

1、日程：6月26日(金)18:30~20:300

2、場所：U I ゼンセン会館2階会議室 (千代田区九段南4-8-16  
tel03-3288-3549) ※市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向い

<http://www.mapion.co.jp/c/f?uc=1&grp=all&nl=35/41/14.758&el=139/44/23.929&scl=5000&bid=Mlink>

3、講師：真鍋貞樹 (特定失踪者問題調査会副代表・戦略情報研究所専務・拓殖大学教授)

4、テーマ「拉致問題解決へのNP0のチャレンジャー政府といかに協働すべきか」

5、参加費 2000円 (戦略情報研究所会員は無料)。

6、参加申し込み 事前のお申し込みは不用です。そのまま会場において下さい。

※眞鍋貞樹著書『NP0のチャレンジ』（2009年4月発行・一藝社）  
定価 2200円+税（当日参加者の方には1100円でお分けします）

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★6月28日（日）14:00「定期総会記念講演会」（日本会議神奈川・相模原支部主催）

●杜のホールはしもと（横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel 042-775-3811）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：奈良支部長（042-757-2002）

★7月5日（日）13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）

●ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

★7月11日（土）14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」（拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催）

●藤沢産業センター（JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り）

●理事三宅が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）

●フレンディア（京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F）

●代表荒木が参加

★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）

●大和会館（米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

★10月12日（月）13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」（救う会神奈川主催）

●横浜情報文化センター 情文ホール（みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分）

●副代表眞鍋が参加

●問い合わせ：救う会神奈川 090(9816)2187 又は [sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

## ■橋下大阪府知事の「しおかぜ」収録と定例記者会見について

「しおかぜ」には上田清司埼玉県知事を皮切りに、多数の首長がメッセージ収録を行って下さっていますが、今回大阪府の橋下徹知事が収録されることになりました。定例記者会見もこれにあわせて行いますので以下お知らせします。

日程 6月25日木曜 14:30～ 橋下知事「しおかぜ」収録。終了後定例記者会見

場所 調査会事務所3F

定例記者会見の内容

- 1、国会前座り込みについて
- 2、「しおかぜ」について
- 3、その他

※報道関係各位 ご存じの通りのスペースですので、橋下知事の収録取材については混乱を避けるため事前登録をお願いします。詳しくは担当理事の村尾までお問い合わせ下さい。

## ■参考情報・戦略情報研究所講演会（真鍋貞樹）

戦略情報研究所の次の講演会は下記の通り開催されます。ふるってご参加下さい。

- 1、日程：6月26日（金）18:30～20:30
- 2、場所：UIゼンセン会館2階会議室（千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549） ※市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向い  
<http://www.mapion.co.jp/c/f?uc=1&grp=all&nl=35/41/14.758&el=139/44/23.929&scl=5000&bid=Mlink>
- 3、講師：真鍋貞樹（特定失踪者問題調査会副代表・戦略情報研究所専務・拓殖大学教授）
- 4、テーマ「拉致問題解決へのNP0のチャレンジャー政府といかに協働すべきかー」
- 5、参加費 2000円（戦略情報研究所会員は無料）。
- 6、参加申し込み 事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。

※真鍋貞樹著書『NP0のチャレンジ』（2009年4月発行・一藝社）

定価 2200円+税（当日参加者の方には1100円でお分けします）

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★6月28日（日）14:00「定期総会記念講演会」（日本会議神奈川・相模原支部主催）

●杜のホールはしもと（横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel 042-775-3811）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：奈良支部長（042-757-2002）

- ★7月5日（日） 13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）
- ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

- ★8月22日（土）14:00「拉致問題を考える川口市民の集い」（拉致問題を考える川口の会主催）
- フレンディア（京浜東北線川口駅東口 キュポラ4F）
- 代表荒木が参加

- ★9月26日（土）13:00「拉致問題と北朝鮮の人権を考える山陰集会」（東アジアネットワーク主催）
- 大和会館（米子市東福原6-12-4 Tel 0859-34-6688）
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：長崎さん（090-7376-7803）

[調査会NEWS 789] (21. 6. 21)

■参考情報「姜哲煥 & 高政美講演会☆北朝鮮の核と強制収容所」

以下守る会及びNO FENCEから緊急集会の呼びかけです。奮ってご参加下さい。

日時 7月7日(火) 夜7時から

場所 明治大学リバティタワー10階1103教室(JR御茶ノ水駅から明大通り徒歩5分)

参加費 無料

北朝鮮政治犯収容所の体験者であり、朝鮮日報記者でもある 姜哲煥氏（著書：平壤の水槽ポプラ社）が、最新の北朝鮮情報を織り込みつつ、金正日の陽動作戦にくらまされない、人権の視点から語ります。 総連を提訴している脱北帰国者 高政美さんも訴えます。

●姜哲煥(カン・チョルフアン)【1968年平壤生まれ。北朝鮮の政治犯強制収容所に9才から19才までの間収容される。釈放後92年韓国へ亡命。2000年より韓国の有力紙『朝鮮日報』記者。韓国で北朝鮮の民主化運動、政治犯収容所廃絶運動を展開中】

●高政美(コ・ジョンミ)【1960年大阪生まれ。63年、帰国運動により北朝鮮に渡る。家族は北朝鮮で迫害を受け、高氏自身も90年代飢餓の時代に北朝鮮体制に根本的な疑問を抱き脱北、2005年日本に戻る。現在、帰国運動の責任を問い朝鮮総連を提訴中】

共催：北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会／NO FENCE（北朝鮮の強制収容所をなくすアクションの会）

協賛：大韓民国民団・朝鮮日報社・統一日報社

連絡先 守る会 三浦 080-3485-7189 / NO FENCE 宋 07  
0-5459-9817

※報道関係の方へ

当日7月7日の午後3時から4時まで外国特派員協会にて記者会見を行います。ご留意ください。

<http://www.fccj.or.jp/node/4672>

■参考情報・戦略情報研究所講演会（真鍋貞樹）

戦略情報研究所の次の講演会は下記の通り開催されます。ふるってご参加下さい。

1、日程：6月26日（金）18:30～20:30

2、場所：U I ゼンセン会館2階会議室（千代田区九段南4-8-16  
tel03-3288-3549） ※市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向い

<http://www.mapion.co.jp/c/f?uc=1&grp=all&nl=35/41/14.758&el=139/44/23.929&sc1=5000&bid=Mlink>

3、講師：真鍋貞樹（特定失踪者問題調査会副代表・戦略情報研究所専務・拓殖大学教授）

4、テーマ「拉致問題解決へのNP0のチャレンジー政府といかに協働すべきかー」

5、参加費 2000円（戦略情報研究所会員は無料）。

6、参加申し込み 事前のお申し込みは不用です。そのまま会場において下さい。

※真鍋貞樹著書『NP0のチャレンジ』（2009年4月発行・一藝社）

定価 2200円+税（当日参加者の方には1100円でお分けします）

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★6月28日（日）14:00「定期総会記念講演会」（日本会議神奈川・相模原支部主催）

●杜のホールはしもと（横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel 042-775-3811）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：奈良支部長（042-757-2002）

★7月5日（日）13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）

●ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

[調査会NEWS 788] (21.6.18)

■手紙の返事

荒木和博



昨日夕刻、山梨県警から電話がありました。

一瞬ドキリとしたものの「まあ、まさか電話で『逮捕する』と言われることはないだろう」と思い、お話を聞いてみると「元県警警備1課長のところにお手紙を出されたそうですが、本人はすでにこの職を離れており答える立場にありません。県警として責任をもってやっています」とのことでした。

これだけでは意味が分からないと思いますが、「手紙」というのは山本美保さんに関わる「DNAデータ偽造疑惑事件」に関して、5年前の3月5日、「DNA鑑定の結果山形の身元不明遺体が山本美保さんである」と発表した当時の県警警備1課長である丸山潤・現警察庁外事情報部外事課課長補佐に私が出した手紙（下につけてあります）のことです。

5月に出した質問状に対する山梨県警の回答（6月4日付）では全く回答になっておらず、回答をいただく際に行ったやりとりでも疑問は増えるばかりだったので、私は丸山氏に手紙を書き、直接会って説明をしてもらいたいとの手紙を書きました。しかし、まさかその返事が山梨県警から届くとは思いませんでした。警察庁宛に送った手紙の情報を山梨県警が独自に入手してこちらに連絡するはずはなく、指示に基づくものであることは明らかです。

常識的に考えれば、本人が直接返事をするか、そうでもなければ黙殺するかでしょう（善し悪しは別として、お役所なのだから、そういう判断があっても不思議ではないと思います）。山梨県警を使って言わせるというのは、子供のけんかを親に言いつけるような（立場上は逆ですが）話で、何か情けなくなりました。もともと公開するつもりはなかった手紙ですが、こういう返事のしかただったので敢えて公開することにした次第です。

いずれにしても、この事件を主導した人々は、問題を山梨県警の問題にして自分たちに火が及ぶのを防ごうとしているようです。県警も盾にされてしまっているようで同情を禁じ得ませんが、本件の問題はもはや山梨の問題ではなく東京の問題、国の問題です。県警のできることは先日の回答でおそらくほとんどすべてだと思います。今後は中心をこちらに移してやっていきたいと考えています。

なお、宣伝になりますが、来週後半に拙著『日本が拉致問題を解決できない本当の理由』（草思社刊）が出版されます。「飯倉公館事件」とあわせこの「DNAデータ偽造疑惑事件」についても書いていますのでご関心のある方はご一読いただくと幸いです。

（丸山課長補佐に送った手紙）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

はじめてお手紙をお送りさせていただきます。ご多忙な中失礼の段お許し下さい。

私は特定失踪者問題調査会という民間団体の代表を務めているものです。ご存じかも知れませんが、当会は拉致の疑いがありながら日本政府が拉致認定していない失踪者について調査し、拉致の疑いが高い場合は救出を目指すための活動を行っております。

さて、今回は特定失踪者山本美保さんの件についてお聞きしたくご連絡申し上げます。丸山様が山梨県警警備一課長在任当時の平成十六年三月五日に行われた発表は山本美保さんのご家族のみならず、私たち支援者にとっても大変ショッキングなものでしたが、そのときの記者会見での丸山課長の受け答えも、後に私たちが提出した質問へのお答えも納得いくものではありませんでした。

その後五年にわたり私たちは調査を続けて参りましたが、どうしても疑問を解くことができませんでした。そこで去る五月二十二日にも県警に質問状をお届けし、美保さん失踪二十五年目にあたる六月四日に県警本部にて回答をいただいたきました。私たちとすればこれで疑問が解けることを期待したのですが、現在の担当者も当時は関係した職におられない方ばかりで、残された書類をもとに回答されているため、残念ながら逆に疑問は深まるばかりでありました。

もちろん、捜査中の事案として、明らかにできないことが多いのも分かりますが、DNAだけが一致して、他のデータがことごとく別人であることを示しているというのはやはりきわめて不自然なことと思わざるを得ません。足利事件などでDNA鑑定の問題に関心が集まっていることでもあり、より踏み込んだ情報開示が必要と考えます。丸山様におかれましても職務上にとどまらず、論文等で拉致問題への高い関心をお持ちと拝察し、ご協力賜りたくお願い申し上げます。大変ご多忙とは存じますが、可能な限り日程は合わせますので関係者とお会いになる場をお作りいただけませんか。私の連絡先等は同封名刺の通りです。是非ともご理解、ご協力賜りますようお願いする次第です。

末筆ながらご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

平成二十一年六月九日

荒木和博

丸山潤様

#### ■参考情報・戦略情報研究所講演会（真鍋貞樹）

戦略情報研究所の次の講演会は下記の通り開催されます。ふるってご参加下さい。

- 1、日程：6月26日(金)18:30~20:300
- 2、場所：U I ゼンセン会館2階会議室（千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549） ※市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向い  
<http://www.mapion.co.jp/c/f?uc=1&grp=all&nl=35/41/14.758&el=139/44/23.929&scl=5000&bid=Mlink>
- 3、講師：真鍋貞樹（特定失踪者問題調査会副代表・戦略情報研究所専務・拓殖大学教授）
- 4、テーマ「拉致問題解決へのNPOのチャレンジャー政府といかに協働すべきかー」

拉致問題が未解決になっているのは、明白な「政府の失敗」である。したがって、拉致問題の解決には、「政府の失敗」を補完する役割としてNPOの活動が期待される。しかし、拉致問題のような高度な政治的問題へのN

POの貢献と役割がどのようなものであるべきか、そして政府との具体的な協働の形をどのように描くのかは、いまだ模索の段階である。こうした事態の打開に向けて、昨今、明らかになった、特定失踪者の河嶋功一さん、加藤小百合さんそして林かな子さんが北朝鮮に生存しているとの情報の分析を交えて、考察を加えていくものである。

5、参加費 2000円（戦略情報研究所会員は無料）。

6、参加申し込み 事前のお申し込みは不用です。そのまま会場においで下さい。

※眞鍋貞樹著書

『NPOのチャレンジ』（2009年4月発行・一藝社）

定価 2200円+税（当日参加者の方には1100円でお分けします）

『現代社会を問う-安心・安全の今-』（共著）（2009年6月発行・北星堂書店）

岩佐充則・竹内雅俊・竹本善次・眞鍋貞樹・山内勇人著

定価 1500円

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★6月20日（土） 14:00 北朝鮮による拉致と人権問題を考える高知県民集会（救う会高知主催）

●高知会館（高知市本町5-6-42 088-823-7123）

●常務理事岡田・理事村尾が参加

●問い合わせ 森田代表（090-3180-9635） 上野事務局長（090-3184-3964）

★6月20日（土）14:00東京ブルーリボンの会集会（同会主催）

●中目黒スクエア（目黒区中目黒2-10-13 東急東横線・地下鉄日比谷線 中目黒駅 徒歩10分 03-5721-8570）

●代表荒木が参加

●問い合わせ・参加申し込み：[blue-jewel-7@mail.goo.ne.jp](mailto:blue-jewel-7@mail.goo.ne.jp) ないし河村さん（090-5215-7752）

★6月28日（日）14:00「定期総会記念講演会」（日本会議神奈川・相模原支部主催）

●杜のホールはしもと（横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel 042-775-3811）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：奈良支部長（042-757-2002）

★7月5日（日）13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）

●ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

[調査会NEWS 786] (21.6.6)

## ■山本美保さんの事件について

山梨県警回答の矛盾点については「山本美保さんの家族を支援する会」のホームページにより詳しく掲載されています。

[http://web.me.com/k.yasushi/YAMAMOTO\\_MIHO/Welcome.html](http://web.me.com/k.yasushi/YAMAMOTO_MIHO/Welcome.html)

もともとの質問と回答の対比はインターネットサイト「電腦補完録」で分かります。

<http://nyt.trycomp.com/modules/news/article.php?storyid=8013>

6月3日から読売新聞山梨版で事件に関する連載「失踪25年」が掲載されています。全体の流れが良く分かります。

[http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/yamanashi/feature/kofu1243953285704\\_02/news/20090602-OYT8T01118.htm](http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/yamanashi/feature/kofu1243953285704_02/news/20090602-OYT8T01118.htm)

## ■参考情報・戦略情報研究所講演会（真鍋貞樹）

戦略情報研究所の次の講演会は下記の通り開催されます。ふるってご参加下さい。

1、日程：6月26日(金)18:30～20:30

2、場所：U I ゼンセン会館2階会議室（千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549）

※市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向い

<http://www.mapion.co.jp/c/f?uc=1&grp=all&nl=35/41/14.758&el=139/44/23.929&scl=5000&bid=Mlink>

3、講師：真鍋貞樹（特定失踪者問題調査会副代表・戦略情報研究所専務・拓殖大学教授）

4、テーマ「拉致問題解決へのNPOのチャレンジー政府といかに協働すべきかー」

拉致問題が未解決になっているのは、明白な「政府の失敗」である。したがって、拉致問題の解決には、「政府の失敗」を補完する役割としてNPOの活動が期待される。しかし、拉致問題のような高度な政治的問題へのNPOの貢献と役割がどのようなものであるべきか、そして政府との具体的な協働の形をどのように描くのかは、いまだ模索の段階である。こうした事態の打開に向けて、昨今、明らかになった、特定失踪者の河嶋功一さん、加藤小百合さんそして林かな子さんが北朝鮮に生存しているとの情報の分析を交えて、考察を加えていくものである。

5、参加費 2000円（戦略情報研究所会員は無料）。

6、参加申し込み 事前のお申し込みは不用です。そのまま会場において下

さい。

※眞鍋貞樹著書

『NPOのチャレンジ』（2009年4月発行・一藝社）

定価 2200円+税

お申し込みは、電話03-5312-8890 FAX 03-5312-8895

『現代社会を問う-安心・安全の今-』（共著）（2009年6月発行・北星堂書店）

岩佐充則・竹内雅俊・竹本善次・眞鍋貞樹・山内勇人著

定価 1500円

## ■参考情報・戦略情報研究所協賛シンポジウム

戦略情報研究所では一橋総合研究所（鈴木壮治統括責任者）主催の下記シンポジウムに協賛します。ふるってご参加下さい。

・テーマ：国家主権と安全保障－「拉致問題と核抑止能力」

・パネリスト：

市川周氏（世界経済研究会専務理事、一橋総研常任理事）

矢野義昭氏（軍事研究家、元陸将補）

鈴木壮治氏（一橋総研統括責任者）

荒木和博（戦略情報研究所代表、拓殖大学教授）

・日時：2009年6月16日（火曜日）

PM6：00会場

PM6：30－8：45

シンポジウム

・場所：如水会館14F 東の間（千代田区一ツ橋2-1-1 03-3261-1101）

地下鉄半蔵門線・三田線・新宿線神保町駅下車徒歩7分

地下鉄東西線竹橋駅下車徒歩7分

<http://www.kaikan.co.jp/josui/company/access.html>

・会費：2000円（コーヒー&サンドイッチ代含む）

※このシンポジウムは戦略情報研究所主催ではありませんので会員の方も参加費が必要です。

・連絡先：[info@h-ri.org](mailto:info@h-ri.org)（事務局・林）

※メールでの参加ご連絡、お問い合わせがしにくい場合は荒木宛お電話下さい（090-8517-9601）

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★6月14日（日） 16：00「講演会」（誇りある日本をつくる会 多摩地区総本部・生島孝子を救う会主催）

会場：東村山市市民スポーツセンター2階大会議室（東村山市久米川町3-30-5 TEL:042-393-9222 西武線「東村山駅」下車、徒歩15分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：吉田さん（090-3530-5917）

★6月28日（日）14:00「定期総会記念講演会」（日本会議神奈川・相模原支部主催）

●杜のホールはしもと（横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel 042-775-3811）

- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：奈良支部長（042-757-2002）

- ★7月5日（日） 13：00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）
- ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）
- 代表荒木が参加
- 問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

[調査会NEWS 785] (21. 6. 5)

## ■山梨県警回答、さらに矛盾が拡大

荒木和博

昨日午前10時より、山梨県警本部で山本美保さんの件に関する質問への回答を受け取りました。以下に「回答を受けて」、「県警回答文」「前号のニュース（一部文字化けしたとの連絡がありました）」の順に掲載しますが、例えば下着のサイズの矛盾に答えずに突然Gパンが男物になっていたり、本人のDNA試料を探さずいきなり双子の妹である森本美砂さんの血液を採っているにもかかわらず「高い識別力を持った鑑定」のためにお母さんの血液は使わなかったと言っているなど、説明自体が矛盾だらけでした。

特にご家族に対して説明したという「4」の部分は圧巻（？）で、全く家族が聞いていない話を丁寧に描写し、「こんなことは聞いたことがない」というと「書類に書いてある（つまり、その書類が本当かどうかは確認していない）」の一点張りでした。「類似した身元不明遺体があるのでDNA鑑定する」と言われたとしたら、20年近く（当時）探してきた家族がその言葉を聞き漏らす、あるいは聞いたけれど忘れてしまう、ということは常識で考えてもあり得ないと思うのですが。まあ、回答した方も当時はその職にいなかったわけですし、半ばヤケクソだったのかも知れません。

いずれにしても山梨県警はただ使われただけ、一種の被害者とも言えますので、今後は当時何があったのか、どうやってDNAデータが偽造されたのかについて、小泉政権の官邸中枢の動きも含めて調べていく必要があると思います。もちろん、当時県警発表に携わった丸山潤課長（当時・警察庁から派遣）らにも事情は聞いてみたいと思いますが。

なお、個別の矛盾点については後日あらためて発表します。昨日の足利事件菅家さんの釈放もありDNAの問題に関心が集まっています。ブログ等やっておられる方はインターネット上などで少しでも多くの人目に触れるようご協力をお願いします。

---

平成21年6月4日

山梨県警からの回答を受けて

山本美保の家族  
特定失踪者問題調査会  
山本美保さんの家族を支援する会

今回の回答は前回のものと基本的に変わるものではなく、私たちの疑念は晴れるどころか一層深まったと言わざるを得ない。

具体的には県警に残されている記録にもとづくものであって、私たちの認識している事実とは異なる点があまりに多い。

したがって、これ以上県警を中心にして対応を求めることは無理があり又、本件において県警は副次的役割を果たしたにすぎないと考えられることから焦点を当時の小泉政権中枢へ移すことが適当と考えられるので、その方向で今後の対応を進める。

#### <今回の回答文の矛盾>

1、美保さんの下着のサイズについての確認を今に至るも行なっておらず、下着等の提出も求められていない。美保さんのGパンサイズは県警も確認しているが、それと回答ではサイズが異なる。

2、本来、座高であるべき「頭頂部より臀部下端」という鑑定結果を遺体の全長であるとしている。

3、遺体の死後経過時間は最大で17日、柏崎でのバックの発見後なら、わずか13日なのに「大約3週間から3カ月くらい」の中に入るとしている。

4、回答の(5)・(6)は事実であるが、(1)～(4)の家族に対しての説明はなされていない。「県警の記録には残っている」との事だが、客観的に考えてそれを家族が記憶していない事はない。

5、この回答では、鑑定書を公開できない理由とはならない。

6、「高い識別力を持った鑑定」と言いながら、美保さん本人の試料を使おうとしなかった事は説明ができない。

-----  
(県警回答文)

梨備一発第12号

平成21年6月4日

山本文子 森本美砂 森本直行 殿

山梨県警察本部警備部警備第一課長

ご質問に対する回答について

平成21年5月22日付で提出されました「平成16年3月5日の山梨県警からの発表に対する質問について」に対しまして、別添のとおりご回答申し上げます。

【質問1について】

山形県の海岸で発見された御遺体について、血液型、性別、推定年齢、推定身長、死後経過時間(推定)等に関する事項及びその骨髄のDNA型鑑定の結果を踏まえて総合的に判断して山本美保さんの御遺体であると判断しました。

ご指摘のブラジャーのサイズに関しては、昭和60年4月及び平成14年10月にご家族から提出された「家出人捜索願」には、いずれもサイズに関する事項は記載されておられません。県警察としましては、御遺体に装着されていたブラジャーのサイズと山本美保さんの胸囲等との比較をすべく、山本美保さんの身体測定結果等の捜査を行いました。現在のところ確認はできておらず、身体特徴を含め捜査を継続しております。また、御遺体に装着されていたGパンに関しては、そのデザイン特徴やエンブレム等を元に捜査した結果、フランスのメーカーのコピー商品で、当時、一般的な価格で県内にも流通していた製品とみられること及び当該Gパンのサイズは男性用の28インチであったことが判明しています。男性用の28インチとは、男性のウエストサイズで71cmに相当するところ、男性と女性とでは、臀部の体形の相違等があるため、このサイズは、一般的には、ウエストサイズが61～65cm程度の女性に適合するサイズであると承知しています。

山形の御遺体がサイズ64のガードルを着用していたことも、これに符合しており、失踪当時のウエストサイズが64?である山本美保さんが着用することは十分可能であったものと判断しております。

#### 【質問2について】

山形県で発見された身元不明死体についての解剖による鑑定結果は、「頭頂部から臀部下端まで25cm」とされておりますが、本件御遺体は、下半身が欠如し、頭頂部から臀部下端までのものであり、鑑定書にはこの他に御遺体の全長を示す記載もないことから、「95cm」とは、座高ではなく、御遺体の全長と理解しております。また、山本美保さんの家出人捜索願によりますと、失踪時の身長は「160cm」となっており、今回、高校三年時の身長として「159.5cmであった」とのご指摘をいただいておりますが、御遺体の推定身長は、解剖による鑑定結果として「大約160～170cmと推定される」とされていることから、両者に矛盾はないものと考えております。

#### 【質問3について】

白骨化、屍蠟化、歯根膜の腐敗状況などは、遺体の置かれていた状態によって変わります。

当時の解剖記録においては、頭部・顔面の白骨化、一部屍蠟化等の様々な所見に加え、当時の気温、屍体の置かれていた状況などを総合的に検討された上で、「本屍の解剖開始までの死後経過時間は大約三週間～三ヶ月位と推定される」とされております。

本解剖を行った解剖医は、当時、既にこの種の解剖に豊富な知識と経験を有しているところ、その判断は、信頼すべきものであると考えております。

#### 【質問4について】



警察では、DNA型鑑定について、森本美砂さんに対して、次のとおり、説明を行っています。

(1) H15.4.26(土)、山本光男方で、山本文子、森本美砂、山下滋夫の各氏に対し、関係者からの事情聴取の状況等の捜査状況、昭和59年に山形県で発見された身元不明死体と山本美保さんに類似点が認められること及びDNA型鑑定が可能であることを説明し、血液の採取について説明したところ美砂さんから承諾をいただきました。

(2) H15.5.7(水)、甲府市内の山梨県立中央病院において、森本美砂さんから鑑定承諾書等の提出を受けるとともに、血液を提出していただいております。

(3) H15.7.22(火)、厚生年金会館一階喫茶室で、森本美砂さんに、科学警察研究所での鑑定結果を伝えた上で、更に詳細な鑑定を行う必要性を説明し、名古屋大学で鑑定を行う予定であることをお伝えし、その場合には、再度の血液提出をお願いする場合もあるとお伝えしました。

(4) H15.11.7(金)、平成14年の捜索願受理後1年が経過したことから、県警察本部公安委員会室で、森本美砂さんに、この間の捜査結果等を説明し、7月22日に説明した名古屋大学での鑑定が行われていることを説明した上、鑑定が行われている御遺体や着衣等の写真を見ていただきました。

(5) H16.3.5(金)、「ニュー機山」において、森本美砂ご夫妻に対し、名古屋大学でのDNA型鑑定の結果について、鑑定書を提示した上で、説明いたしました。

(6) 同日、山本文子方で、山本文子、森本美砂さんに対し、同じく名古屋大学での鑑定結果についてご説明しております。

以上のとおり、それぞれの時点で必要なお説明は尽くしており、今回ご指摘のような「立ち話」で鑑定結果をお伝えしたという事実は一切ありません。

#### 【質問5について】

鑑定書については、事案の特殊性にかんがみ、平成16年4月7日(水)に家族及び訴訟代理人の弁護士に閲覧していただいております。これは、犯罪捜査規範の規定に基づき「被害者等に対する通知」として対応したものです。

県警察は、山形の御遺体について山本美保さんのものであると判断しておりますが、死に至った経緯等につきましては明らかになっておらず、拉致の可能性も含めて捜査を継続しているところであります。

現に捜査中の事案である本件の鑑定書及びそのコピーをお渡しすることは差し控えさせていただきます。

#### 【質問6について】

鑑定においては、現存の資料で明瞭な結果を出すことが重要であり、この結果、資料が残らないこと、はありますが、このことにより実施された鑑定

結果の信頼性が損なわれることはないと考えます。

また、妹美砂さんの血液を採取したのは、山本美保さんと森本美砂さんが一卵性双生児であり、親を対照資料にする場合よりも高い識別力をもった鑑定ができることからご協力いただいたものです。

[調査会NEWS 784] (21. 6. 4) 「DNA データ偽造疑惑事件」

■本日「DNA データ偽造疑惑事件」について山梨県警が回答

荒木和博

さる5月22日に特定失踪者山本美保さんのご家族、地元支援組織、調査会が連名で提出していた質問状に対して、山梨県警は本日10時に回答を行う予定です。今日は山本美保さんが失踪してからちょうど25年目になります。これから私も甲府に向かい、13時から山下理事、ご家族、地元支援者の方々と共に記者会見を行う予定です。

今回どのような回答が来るのかはもちろん分かりません。前進していることを期待はしたいものの、前回の域を出ない可能性が多分にあります。場合によっては「山形の遺体の調書が間違っていた」とか言って、そっちを美保さんにあわせてしまうかもしれません（もちろんそうなればそうなったで別の矛盾が出てくることになります）。

いずれにしても今回のことは他の特定失踪者のご家族も関心を持っており、また、全国で平素一所懸命に努力している大部分の警察関係者の方々のためにもしっかりと明らかにしていかなければならないと思っています。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★6月14日 16:00「講演会」（誇りある日本をつくる会 多摩地区総本部  
・生島孝子を救う会主催）  
会場：東村山市民スポーツセンター2階大会議室（東村山市久米川町3-30-5 TEL:042-393-9222 西武線「東村山駅」下車、徒歩15分）

●代表荒木が参加



(銀行口座をご利用で領収書のご入用な場合はメールないしFAXにてご連絡願います)

[調査会NEWS 783] (21.6.1) 「週刊現代」掲載記事について

■「週刊現代」に掲載された林かな子さんと加藤小百合さんの目撃証言について

平成21年6月2日  
特定失踪者問題調査会 副代表 眞鍋貞樹

先週に引き続き、本日発売の「週刊現代」に、特定失踪者の林かな子さんと加藤小百合さんに関する重要な情報が掲載された。その内容は、「本年に北朝鮮から帰国した日本人が、ピョンヤンで7年間にわたって拘束されていた間に、林かな子さんと加藤小百合さんによく似た人物を目撃した」というものである。

これらのお二人については、すでに調査会は「拉致の可能性が濃厚である」として1000番台リストとしてあるが、新たにこうした目撃情報が出てきたことから、さらにその可能性が強まったと認識できる。

ただし、今回証言された日本人の方のケースは、ピョンヤンでの拘束の経過や帰国の経過について、不自然な点が多い。あえて北朝鮮が永年にわたって拘束していた日本人を帰国させたことは、拉致問題の進展に向けて、何らかのメッセージを日本側に送っている可能性があるとも考えられる。

日本政府においては、政府の責任の上で、この目撃情報の信憑性の確認について鋭意努力されたい。そして、お二人が拉致されたことが明らかになれば、すみやかに救出に向けて全力で取り組むよう求めるものである。

■調査会役員の参加する講演会等の予定（一般公開の拉致問題に関するイベントのみ）

★6月14日 16:00「講演会」（誇りある日本をつくる会 多摩地区  
総本部・生島孝子を救う会主催）

会場：東村山市市民スポーツセンター2階大会議室（東村山市久米川町3-30-5 TEL:042-393-9222 西武線「東村山駅」下車、徒歩15分）

●代表荒木が参加

★6月28日（日）14:00「定期総会記念講演会」（日本会議神奈川・相模原支部主催）

●社のホールはしもと（横浜線・京王相模原線橋本駅前 Tel 042-775-3811）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：奈良支部長（042-757-2002）

★7月5日（日）13:00「救う会いばらき守谷集会」（同会主催）

●ロックシティ守谷・センターコート（筑波エクスプレス・関東鉄道守谷駅下車徒歩7分）

●代表荒木が参加

●問い合わせ：救う会いばらき（090-1212-8084）

★7月11日(土) 14:00「拉致被害者と家族の人権を考える市民集会」  
(拉致被害者と家族の人権を考える湘南の会実行委員会主催)  
●藤沢産業センター(JR藤沢駅北口より徒歩5分・藤沢郵便局隣り)  
●理事三宅が参加  
●問い合わせ: 救う会神奈川 090(9816)2187 又は  
[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)

★10月12日(月)13時～「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」(救う会神奈川主催)  
●横浜情報文化センター 情文ホール(みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 0分 JR・地下鉄「関内駅」徒歩10分)  
●副代表真鍋が参加  
●問い合わせ: 救う会神奈川 090(9816)2187 又は  
[sukukaikanagawa@hotmail.com](mailto:sukukaikanagawa@hotmail.com)